

エルサルバドル政治経済月報 (2020年11月分)

2020年12月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 検察庁による政府関連機関に対する家宅捜索

(1) 9日、検察庁(FGR)は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック対策として行われた公共調達における不正の可能性について捜査するために、保健省、環境省、財務省、農牧省、エルサルバドル環境基金(FONAES)、上下水道公社(ANDA)に対して家宅捜索を開始した。

(2) 10日、FGRによる保健省への家宅捜索に際し、保健省の職員及び警備員、並びに、国家文民警察(PNC)が、FGRの捜査員の保健省への入場を阻止しようとした。その後、同捜査員は保健省内に入場し、家宅捜索を開始したが、同捜査員による家宅捜索を妨害しようとする行為が、継続的に行われた。

(3) 11日、メディア出演したメララ検察庁長官は、保健省等への家宅捜索は、COVID-19のパンデミック下で行われた公共調達における不正疑惑に関する訴え、及び、エルサルバドル無処罰問題対策国際委員会(CICIES)が指摘した問題点に基づくものであり、とりわけ、CICIESによる報告が、今回の家宅捜索の実施に大きく貢献した旨述べた。

CICIESの関与によって汚職問題に関する捜査が行われるのは、本事案が初となる。同長官は、PNCによる家宅捜索を妨害する行為に関し、右行為はPNCの信用を損ない、FGRのPNCに対する信頼を失わせるものであると批判した。

(4) 11日、ブケレ大統領は自身のツイッターに、「全ての家宅捜索、(チカスPNC長官兼公共治安次官の)不逮捕特権剥奪要請が同じ日に行われるのか?国民共和同盟(ARENA)の検察長官(メララ検察長官)は既に選挙キャンペーンに入っている(注:メララ検察長官の任期は2021年まで)。メララ長官に言ったことがあるが、人は刈り取るために種を蒔く。」とのメッセージを発出した。

(4) 11日、エルネスト・カストロ大統領首席補佐官は、政府として、FGRが過去に例のない規模の家宅捜索を行うことに反対はしておらず、政府として何ら隠し立てすることはなく、求められる関連書類は全て提出する、如何なる汚職の事案も隠蔽することはない旨発言しつつも、今回のFGRによる家宅捜索は、他の事例におけるものとは性質が異なるとして、FGRによる今回の家宅捜索を暗に批判した。

(5) 公共調達における不正疑惑として、報道ベースでは以下の事例が指摘されている。

(ア) 保健省によるAuto Todo SA de CV社からの22万5千ドルのゴム長靴の購入。

(イ) 財務省によるSYGM Asesores社からの25万ドルのマスクの購入。

(ウ) 農牧省によるDesing LLC USA社からの300万ドルの食糧、及び、Trade Winds社からの53万5,500ドルの食糧の購入。

2. 政府高官人事

17日付官報にて、明年2月28日に予定されている国会議員選挙及び全国市長選挙に出馬する政府高官の辞任、及び、一部ポストの後任人事が発表された。

(1) 辞任

(ア) アグスティン・サルバドル・ヘルナンデス・ベントゥーラ総務次官

(イ) スエシー・カジェハス文化大臣

(ウ) マヌエル・リゴベルト・ソト・ラソ農牧次官

(エ) ジェセニア・ヒオマラ・エルナンデス・ゴンサレス地方開発次官

(オ) エルネスト・カストロ大統領首席補佐官

(カ) ルイス・ロドリゲス大統領府戦略プロジェクト担当補佐官

(2) 就任

(ア) フランクリン・アルベルト・カストロ・ロドリゲス総務次官

(注：カストロ総務次官は、同時に、総務大臣代理を務める旨言及されている。これは、ドウラン総務大臣が、サンサルバドル市長選挙に出馬するための措置と考えられる。本来であれば、公職選挙法に基づき、ドウラン総務大臣も辞任する必要があるが、今般の官報ではその旨発表されておらず、あくまでも休職という形をとり、仮にサンサルバドル市長選挙に敗れた場合、総務大臣職に復職するのではないかと見られているが、休職というステータスが、公職選挙法上問題がないかとの疑念が寄せられている。)

(イ) クリスティアン・エルソン・フローレス・サンドバル大統領府戦略プロジェクト担当補佐官

3. 政府高官への報酬問題

(1) 30日付当地主要紙「ラ・プレンサ・グラフィカ」紙の報道によると、ブケレ政権の3名の大臣及び6名の副大臣が、名誉職として給与を得ていないとされながらも、二重の役職によって、実際のところは、大臣、副大臣の職で得られるものよりも高い給与を得ていたことが判明した(注：大臣、副大臣の給与額は、給与法によって上限が定められているが、今回判明したケースは、名誉職として大臣、副大臣としての給与は受け取らないが、給与法が適用にはならない顧問等の役職の報酬として、大臣、副大臣の職で得られるものよりも高い給与を得ていたもの。)

(2) 今回明らかになったのは、ソル住宅大臣、ナバレテ地方開発大臣、フエンテス前財務大臣、アナヤ財務次官、フエンテス財務次官、ポサーダ財務次官、ポルタル外務次官、ハスブン環境次官、アリアサ国家文民警察長官の9名。これら9名の大臣、副大臣に支払われていた報酬額の総額は、これら9名が大臣、副大臣として得るべき給与よりも月額で約21.4万ドル高いものであった。

外交

1. グアテマラ及びホンジュラスへの人道支援

7日、ブケレ大統領は自身のツイッターで、熱帯低気圧イータによる災害被害が発生したグアテマラ及びホンジュラスへの人道支援を表明した。200名の救援隊を派遣するとともに、熱帯低気圧イータの被災者を対象に200万ドル相当の食料パッケージを供与する考えを示した。

2. ブケレ大統領によるバイデン米国次期大統領への祝意メッセージ

8日、ブケレ大統領は、同月3日に行われた米国大統領選挙で当選確実となり、同月7日に勝利宣言を行った民主党のバイデン候補に対し、自身のツイッターで祝意を表明した。また、同大統領は、バイデン次期大統領宛に祝意を表す書簡(11月7日付)を公表した。

3. ヒル外相とアルマグロ米州機構(OAS)事務総長の会談

23日、アルマグロOAS事務総長が、ヒル外相との会談についてツイッターメッセージを発信したのに対し、同日、ヒル外相が、同じくツイッターで返信した。

(1) アルマグロOAS事務総長ツイッターメッセージ

ヒル外相と会談し、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが米州にもたらした(事態の)深刻さ、民主主義の強化、及び、経済復興を加速化させていくことに対する課題に関し、意見交換を行った。また、2021年にエルサルバドルで行われる選挙に対し、OASが監視を行うことを確認した。

(2) ヒル外相ツイッターメッセージ

エルサルバドルは、アルマグロOAS事務総長のビジョンを共有する。我々が、全世界的に直面しているこの困難の後のエルサルバドルの総合的な復興に関し、我々は責務を有している。

経済

1. 税収額の下落

2020年10月の税収は369.3百万ドルであった。これにより、本年10月までの税収総額は、4,013.5百万ドルとなった。なお、前年同期の税収総額4,382.8百万ドルと比較すると、8.4%減であった。エルサルバドル財務省は、2020年度予算において、本年10月までの税収額を4,730.6百万ドルと予測しており、右予測額と比較すると、717.1百万ドル減（15.2%減）となった。

2. ムーディーズ社による格付け評価

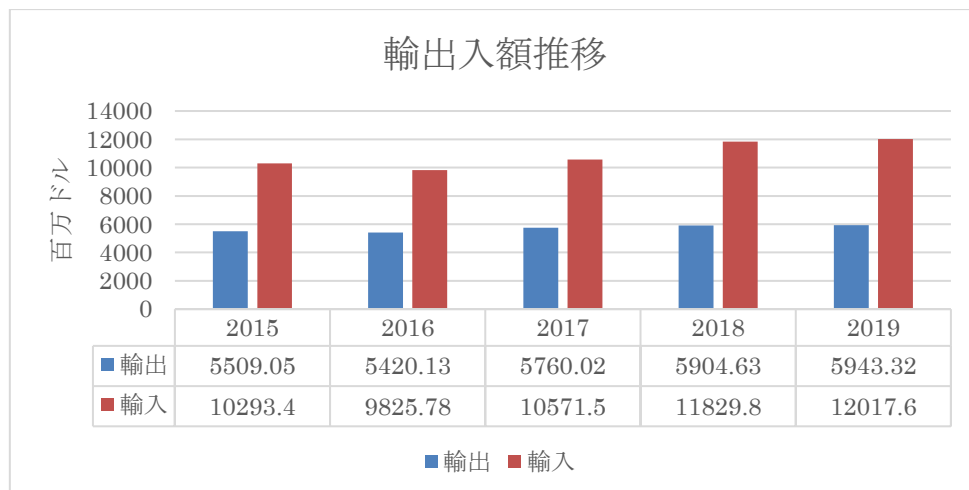
16日、米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、エルサルバドルのソブリン債格付け評価を「B3」と発表した。右評価の理由として、資金調達増加による政府の流動性リスク、対外債務をめぐる厳しい状況及び国内市場を強化する能力が限定的であることをあげた。同社は、以前は、エルサルバドルの評価に関して、“ポジティブな見通しを兼ね備えたB3”としていたが、エルサルバドルは新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックによって、対GDP比90%に達するほどの公的債務の増加に直面しており、財務状況は悪化しているとした。また、同社は2020年のエルサルバドルにおける財政赤字は、対GDP比11%に到達すると予測しており、右予測値は、本年5月時点での予測値8.5%をさらに上回る予測結果となった。

3. 中米経済統合銀行（BCIE）による中米復興回復プログラム2,500百万ドル融資

16日、中米経済統合銀行（BCIE）は、自然災害による緊急事態への対応を目的とした中米復興回復プログラムによる2,500百万ドルの融資を発表した。本プログラムは、気候変動等の影響に対応することを目的としており、被災したコミュニティの復興及び社会経済的機会の創出を目指している。今般の融資は、ハリケーン・イータ（ETA）及びハリケーン・イオタ（IOTA）による被害に充てられる。

4. 家族送金額の増加

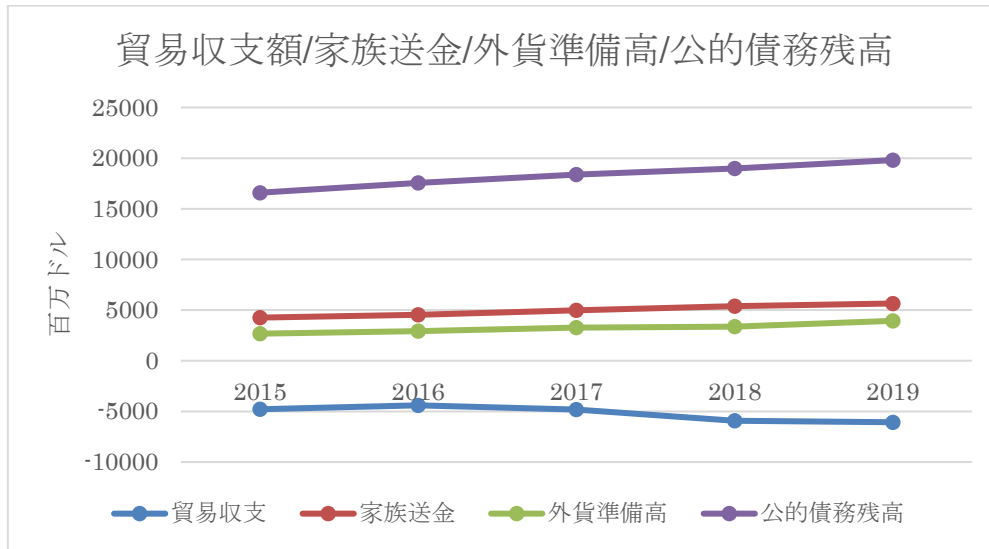
16日、エルサルバドル中銀は、10月の家族送金額を571.5百万ドルと発表した。右額は本年1月から10月の間で最も大きく、前年同期比18.4%増を記録した。本年1月から10月までの送金総額は4,759.7百万ドルに上り、前年同期比119.9百万ドル増（2.6%増）を記録した。今般の増加は、米国における経済及び雇用の復興によるものとの見方がなされている。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

・2019年の輸出額5,943.32百万ドルとなり、前年比0.66%増加した。輸入額は12,017.6百万ドル

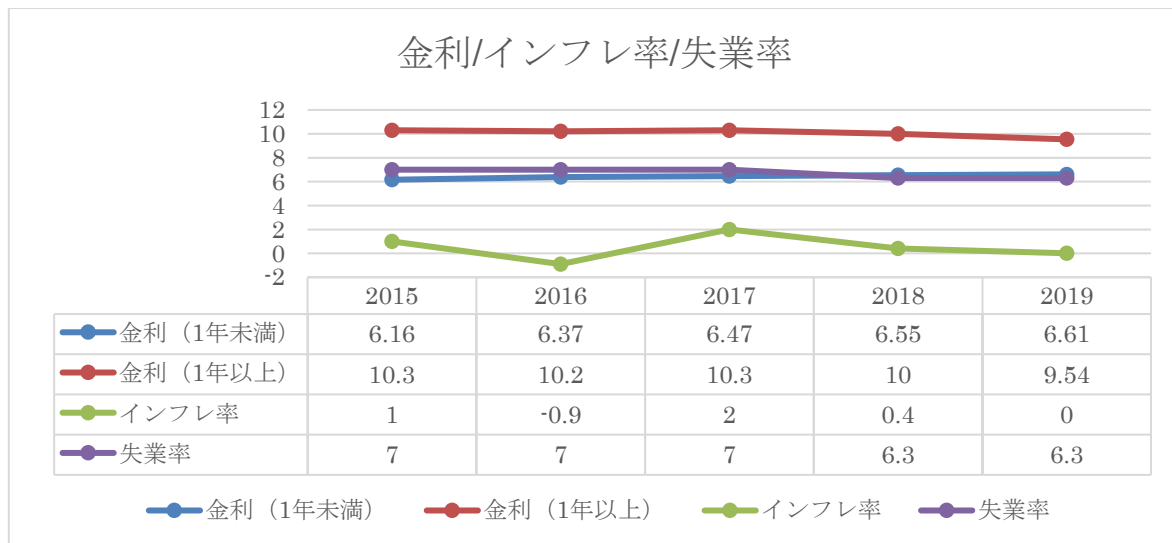
ルとなり、前年比で1.59%増加した。



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

・ 2019 年家族送金額は 5,650.21 百万ドルであった。その内、米国からの送金は全体の 94.9% を占め、米国からの送金だけで総額 5,364.6 百万ドル、成長率 5.2% であった。

・ 貿易収支は-6074.2 百万ドルとなり、前年比-149.08 百万ドルであった。

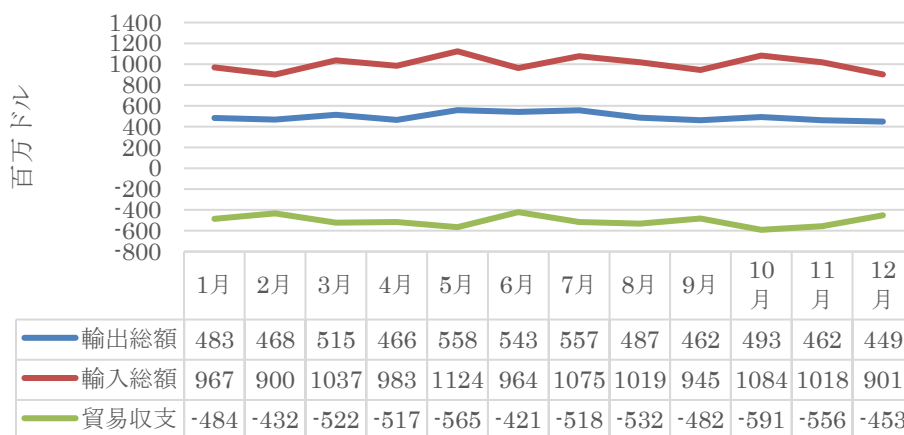


(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

・ 2019 年のインフレ率は-0.004%となり、前年と比較し、0.434 ポイント減少した。

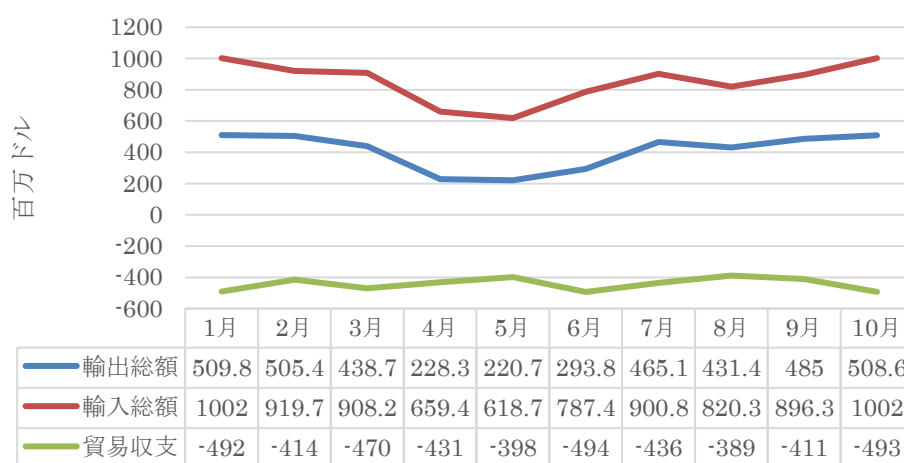
・ 2019 年の失業率は前年同様 6.3% であった。

2019年1月から12月までの輸出入額及び貿易収支額



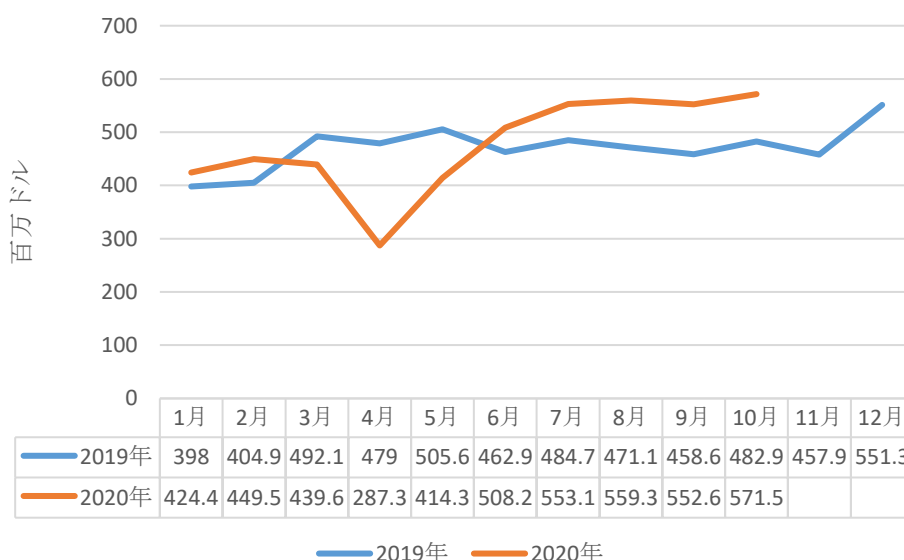
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

2020年1月から10月までの輸出入額及び貿易収支額



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

1月から10月までの家族送金額推移比較 (2019-2020)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. 犯罪組織の偽造医薬品によるマネーロンダリング（報道）

国連薬物・犯罪事務所（UNDOC）の分析の結果、犯罪組織は、新型コロナウイルスのパンデミックを利用し、偽造医薬品等を用いてマネーロンダリングを行っているとの指摘がなされた。モニカ・メンドーサUNDOCエルサルバドル事務所長によれば、新型コロナウイルスのパンデミック下において、特に医療品、医療機器、医薬品に関しては著しく需要が高まり、各国の政府が、パンデミック対策の強化に向けて取り組む中、いくつかの政府が調達手続きを緩和したことが、犯罪組織の入り込む隙を与えたとしている。

カリブ金融活動作業部会（GAFIC）が纏めた2020年5月の報告書では、エルサルバドル及び中米諸国を含む世界各国で発生した詐欺事件の事例が報告されている。国連は、エルサルバドルの公的機関及び民間部門がマネーロンダリング対策に向け連携する必要性について繰り返し勧告してきた。現在、エルサルバドル国会は、エルサルバドルがマネーロンダリング対策の国際基準を満たすため、マネーロンダリング関連新法の整備を進めている。

2. ギャンググループメンバーの国内移住（報道）

国家文民警察（Policia Nacional Civil）は、ギャンググループのメンバーが、サンミゲル、ウスルタン、モラサン、アウアチャパン、ラリベルタ、サンサルバドルを始めとした県から、ラウニオン南部へ移動する動きを確認した。警察筋によれば、こうしたギャンググループのメンバーが、元の居住地から移動する理由は様々で、ラウニオン県南部地域で犯罪行為に及んでいる組織を強化・支援するため、潜伏先を確保するため、あるいは、捜査当局の捜査から逃れるためなどが理由として指摘されている。

ラウニオン県のエルタマリンド、ラストウナス、エルカカオ、エルシプレスの各地域では、県外から移動してきた犯罪者が確認され、このうちいくつかの案件において関係者が逮捕されている。また、同県のコンチャグアの農村地帯や高地のキャンプ場にもギャングが潜伏していることが確認されている。今年に入り、ラウニオン県では30件強の恐喝、81件の殺人事件が発生しており、これらの犯罪の多くは、他県から移動してきた人間による犯行である。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパング湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	

エル・ピタル山
ラ・パルマ市
サンタ・テレサ温泉
スチト旧市街
サン・アンドレス遺跡
タスマル遺跡
カサ・ブランカ遺跡
サンタ・アナ旧市街
オロメガ湖
エル・ホコタル湖
サン・ミゲル市
オロクイльта市

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	配送車盗難強盗	誘拐
2020年9月	501	319	251	132	146	58	44	175	90	3	3
2020年10月	518	303	281	154	181	74	33	243	86	1	0

